岐阜県立岐阜病院病診連携新聞

すこやか

第7号
平成16年8月
発行

岐阜県立岐阜病院
病診連携推進部会

病院理念

県民に信頼され、患者さまの立場にたった
よりよい医療を提供するために

一、Humanityに基づいた医療
二、EBM(Evidence Based Medicine)の実践
三、効率的な病院運営

に努めます

病診連携と看護の役割

県立岐阜病院
副院長兼看護部長　松井　和世

- 日本医療機能評価による病院機能評価認定　平成14年3月18日
- 自治体優良病院として総務大臣表彰　平成14年5月16日
- ISO14001認定　平成14年10月18日

県立岐阜病院では地域に根ざした21世紀に求められる病院を目指して、さまざまな取り組みをするなかで病診連携室が平成13年度に開設され丁度3年が経過しました。

病診連携室は他医療機関との信頼関係を築いていく重要な役割をもち、また院内医師と院外医師が関わりを持つうえでの窓口であり、いわば病院の顔といえます。

急性期医療を目指す当院では、病診連携で次のようなことを重点的に推進しています。開業医の先生からの紹介率の向上、当院の機能コンセプトを明確にし機能分化をめざす、開放型病床の設置による共同診療、クリニカルミーティングでの症例検討、CT・MRI・RIなど高度医療機器検査の開放化、そして患者紹介、逆紹介をシステム的に支援しデータベースを作成する等です。病診連携室はこれらの業務がスムースに行われるように窓口となり活動しています。

当院の病診連携室では専従の看護師長を配置し、上記の病診連携支援業務を事務員と共に行っています。さらに退院調整看護師が兼務し、急性期を脱した患者さんが在宅あるいは療養施設へ移行するに当たって入院の早期から退院に向けてかかわり、不安や心配なく退院できるよう支援しています。また看護部での病床一元管理により緊急の入院要請に即座に対応できるシステムをとっています。

これからも一層の連携強化にむけて顔のみえる連携、地域住民の方や患者の皆様にたいしての広報活動、さらに利用しやすい連携体制作りをするうえで、患者さまの最も身近にある看護の持てるちからを発揮していきたいとおもいます。

今後ともご指導・ご支援をたまわりますようお願いもうしあげます。

私と病診連携

岐阜県医師会 林　力

私の診療所は、国道156号線沿いに位置している関係上、県立岐阜病院へは地理的な事より、紹介患者さんを優先的に紹介しております。また、当地域よりも近く、患者さんにも大変感謝されております。

私のような一人で診療を行っている医療機関では、一人で対応できない外傷（主に骨折）や、一人で診断に迷うような症例を紹介しています。その都度、県立岐阜病院の先生方には、適切なアドバイスを頂きまして、感謝しております。

また、貴院には、ＭＲＩやＣＴをはじめとした種々の高価な検査機器が備えられており、自院でできない高度な検査等を依頼しております。

県立岐阜病院には、救急救命センターが設置されており、時間外や重症患者の受け入れを快く引き受けて頂き有り難うございます。

平成16年4月より、岐阜大学附属病院が岐阜市の中心地より黒野地区へ移転し、6月1日より診療が開始されました。岐阜市中心部で、高度な医療を行う施設が移転したことにより、岐阜市の中心部の救急医療をはじめとした医療の過疎化がおこり、今後、ますます県立岐阜病院の重要度が増加するものと思われます。

また、県立岐阜病院も平成18年度には新病院が完成し、高次救急医療センターが開設されると聞いております。地域住民の医療と安全に対する貢献が、大いに期待されるものと思われます。

今後の県立病院の発展と、病診、病病連携が、ますます推進されますことを祈念しております。

産婦人科紹介

産婦人科部長 山田新尚

スタッフ

山田新尚部長、篠原有美医長、成川 希医師

悪性腫瘍の治療成績

婦人科領域においてはがんの治療に主眼をおいています。過去10年間で、子宮頚がんが約300例、子宮体がんが150例、卵巣がんが120例でありました。5年生存率は、子宮頚がんⅠ期98%、Ⅱ期100%、Ⅲ期47%、Ⅳ期19%、子宮体がんⅠ期95%、Ⅱ期100%、Ⅲ期63%、Ⅳ期10%、卵巣がんⅠ期85%、Ⅱ期63%、Ⅲ期15%、Ⅳ期3%で、特に早期がんにおける徹底的根治を目標としてきた成果としてⅠ期、Ⅱ期の治療成績は全国平均を上回るものが多く、これは当院の放射線科、麻酔科、泌尿器科、外科の協力に負う所が大きいと考えます。

周産期医療と今後の展望

当科の担っている大きな使命は周産期医療であります。平成14年の分娩数457例のうち母体搬送92例と、新生児センターを併設する関係で母体搬送が多いことが特徴であります。その内容は、前期破水34.2%、切迫早産30.2%、これに胎児仮死を合わせると2／3以上が胎児側要因、他方、母体側要因の妊娠中毒症12.4%、胎盤早期剥離7.8%等となっています。最近では多胎の増加が顕著であり、平成15年は41例ありました。また近年の社会情勢を反映して乳幼児虐待予防にも強い関心を抱き、委員会活動、学会発表など模索中であります。

今後の当科の抱負は、平成18年開設の母子総合医療への基礎づくりであります。周産期医療には各部門のチームワークが必要不可欠であり、また県下の他の基幹病院とのリアルタイムな情報交換も必要であります。岐阜県の周産期医療のリーダーシップをどのように発揮していくかが当科の今後の課題と考えています。

トピックス

癌に対するアプローチのうち、発癌の予防の意味から発癌のリスクファクターを理解することが重要であります。子宮頚癌においてはその多くは**HPV**（ヒトパピローマウィルス）感染により形成された**CIN**（子宮頚部上皮内腫瘍）病変を経て、遺伝子発現の異常の蓄積により発生すると考えられており、**HPV**感染がその最大のリスクファクターであるということであります。

乳腺外来紹介

外科医長 長尾育子

スタッフ

長尾育子外科医長

現状

当科は、乳房にしこりを感じたり、乳頭分泌等の異常に気づいた方、または検診で要精検と判定された方などが受診する乳房専門の外来として平成16年4月に開設されました。乳房の基本的な検査であるマンモグラフィ、超音波検査は、すべて女性スタッフで担当し、受診された日のうちに結果の説明を行っています。開設以来、スタッフ一同で大切にしてきたことは、受診される方の気持ちを大切にした雰囲気作りです。自分の乳房にしこりを発見した方は、もしかしたら癌かもしれないという不安で頭が一杯になりながら病院を受診されますので、なるべくリラックスできるよういろいろな工夫をしています。これまでに受診された患者様から「とても暖かい雰囲気で良かった」「病院に行こうかどうか迷っていたけれど、思い切って受診して良かった」と、言っていただけることもしばしばです。これらの声を励みに更に努力していきたいと思います。近年、乳癌検診にマンモグラフィが導入されたことにより、非触知癌の占める割合が増加し、より高度な診断力が要求されますし、術式を決定するためにより精密な病巣の広がり診断が要求されています。乳腺に携わる他科のスタッフとも密に連絡を取り合いながら精度を追究し、診断と治療に取り組むよう心がけております。

また、当科は2次精検の場であるとともに、地域への乳癌の早期発見に関する啓蒙活動にも力を入れたいと考えています。乳癌の早期発見には定期検診と自己検診の組み合わせが必須です。女性の乳癌死亡率が年々増加する傾向に歯止めをかけるために、県内の女性に乳癌の早期発見の重要性、自己検診の方法、定期検診の必要性等を伝えていきたいと考えております。

“女性が安心して受診できる乳腺外来”であるよう、今後もスタッフ一同、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

診療医師担当日表

病院管理者　院長　清水　勝　H16・7・1現在

科別	曜日	月	火	水	木	金
内科	一番	白木（循環器科） 松尾（循環器科）	大野（腎臓科） 小野（循環器科）	香田（循環器科） 琴尾（循環器科）	瀬川（循環器科）	松尾（循環器科） 小野（禁煙外来）
内科	二番	岩間（循環器科） 小田（腎臓科）	廣瀬（循環器科） 瀬川（循環器科）	大橋（腎臓科）	小田（腎臓科） 香田（循環器科）	大橋（腎臓科）
内科	三番	渡辺佐（循環器科）	渡辺佐（循環器科）	松尾（循環器科） 松野（循環器科）	渡辺佐（循環器科） 高橋（循環器科）	渡辺佐（循環器科）
内科	特殊外来		大橋（CAPD） 長尾（女性外来）午後	渡辺佐（ハートクリニック） 廣瀬玲（女性外来）午前（初診） 午後（再診）	大橋（CAPD） 廣瀬（ペースメーカー） 長尾（女性外来）午後	松野（ペースメーカー）
内科	五番	安田（初診）	大西（初診・再診）	大西（初診・再診）	大西（初診・再診）	小林（初診・再診）
内科	六番	清水（肝） 西田（神）午後予約のみ	清水（肝） 小林　午後（胃透視結果説明）	岩田（消化器）午前	西田（神）	西田（神）初診
内科	七番（再診）	境（神）　北川（神）	福富（消化器）	安田（呼吸器） 小林　午後（胃カメラ結果説明）	清水省（消化器） 廣瀬洋（消）再診・午後	鮏（呼吸器）初診・再診
内科	八番	診療医不定（総内） 診療医不定（心身）午後	診療医不定（総内）	診療医不定（総内）	丹羽（総内）（再診） 林（心身）午後	診療医不定（総内）
内科	九番	村山（総合内科） （再診・初診）	吉野（総合内科） （再診・紹介初診）	村山（総合内科） （再診・紹介初診）	吉野（総合内科） （再診・初診）	村山（総合内科） （再診・紹介初診）
小児科		今村（小児） 森田（小児） 今村（脳波外来）午後 鈴木（心理外来）午後	今村（小児） 松尾（小児） 樋口（心理外来）午後	今村（小児） 森田（小児） 松尾（腎臓・肝臓外来） 鈴木（心理外来）午後	今村（小児） 安達（小児） 松尾（内分泌アレルギー） 鈴木（心理外来）午後 樋口（心理外来）午後	今村（小児） 松尾（小児） 今村（発達外来）午後 森田（神経内分泌外来） 樋口（心理外来）午後
小児循環器科		桑原尚（予約のみ）	桑原尚（午前）	桑原尚（午前）	桑原尚（午前）	（休診）
新生児科		河野（午後） 鈴木（心理外来）午前	長澤（午後）1,3 週 山本（午後）2,4 週	河野（午後） 鈴木（心理外来）午前	伊藤（午後）1,3 週 内山（午後）2,4 週	河野（午後） 樋口（心理外来）1,3,5週
外科	一診	國枝　三澤	三澤　古市	太和田　河合	古市　三澤	三澤　國枝
外科	二診	田村　福井	河合　太和田	福井　太田	國枝　河合	福井　太田
乳腺外科		長尾	長尾	（手術）	長尾	長尾
整形外科		飯沼（初診） 平川（再診）	横井（初診） 安永（再診）	鈴木（予約再診のみ）	平川（初診） 横井（再診）	安永（初診） 飯沼（再診）
脳神経外科		谷川原　中島	（手術）	山川　服部	谷川原　中島	山川　服部
心臓血管外科		村上 又は 加藤	（手術）	澤村	（手術）	滝谷
小児心臓外科		（手術）	竹内・滝口（午後）	（手術）	（手術）	（手術）
皮膚科		前田・永井・畑佐 （検査）	前田（初診のみ）（特殊治療） （手術）	山崎・前田・畑佐 学童外来	畑佐・前田・山崎 （手術）	山崎・畑佐 （検査）
泌尿器科		竹内	酒井	谷口	診療医不定（初診のみ） 神経因性膀胱外来（予約制）	亀井 尿失禁外来（予約制）
産婦人科		山田（初診・再診） 篠原（妊婦検診） （検査）	横山（初診・再診） 篠原（妊婦検診） （手術）	山田（初診・再診） 田上（妊婦検診） （手術・検査）	成川（初診・再診） （手術）	篠原（初診・再診） 成川（妊婦検診） （検査）
眼科		直原 （手術）	丹羽 （斜視・弱視外来・外来手術）	直原・丹羽 （斜視・弱視外来・外来手術）	直原・丹羽・熊田 （斜視・弱視外来・外来手術）	直原 （手術）
耳鼻咽喉科		柳田正・柳田三・菱田 （手術）	柳田正・柳田三・菱田 （予約検査）	（手術）	柳田正・柳田三・菱田 （予約検査）	柳田三・菱田 （手術）
放射線科		三宅	三宅	（検査）	三宅	三宅
歯科口腔外科		石丸 （手術）	水井	石丸・水井 （検査）	石丸 （手術）	石丸・水井 （顎関節外来）

＊受付時間／平日 8:30から11:00まで

＊担当等に変更があれば管理調整担当（内297　朝日）までご連絡ください。

編集後記

岐阜県立岐阜病院病診連携新聞第７号をお届けします。
病診連携に向けて、先生方に少しでもお役に立てる紙面を目指しています。
ご意見、ご要望がございましたらお寄せください。お待ちしています。

岐阜県立岐阜病院
〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号
TEL（058）246-1111（代）　FAX（058）248-3805
http://www.pref.gifu.jp/gifu_hospital

発行／岐阜県立岐阜病院病診連携推進部会